
星のカービィ original story ～～崩れていく平和～～

旧スイッケン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

星のカービイoriginal story~~~~~崩れていく平和

【Nコード】

N4746Y

【作者名】

旧スイツケン

【あらすじ】

ここは平和な星ポップスター過去にこの星を狙う、革命、征服、悪夢などなど、この星に様々な過激が積み重なったが、そんな悪を打ち抜いた英雄——通称ピンクの悪魔とよばれた伝説の英雄【カービイ】が平和を守ってくれた。カービイが居てくれたおかげで毎日平和が訪れていた。しかしある日、またププランドに新たな黒幕が訪れようとしていた——

第1話：変わらない日常（前書き）

やっと小説投稿できたことに私感動

さてはて…続くかどうか（汗）↑いや続けるよ

いつも通り文章オワタ

＼（＾Ｏ＾）／

漢字や言葉がおかしなことになっていると思います

（汗）とか（笑）が時々入っています

それが嫌な方は今すぐbackしましょう

それでも良い方は光の早さで次のページに行きましょう！
＝
＝
＝

（　　＾　　ω　　＾　　）＝
＝

第1話：変わらない日常

ここはポップスター

あきれるほど毎日が平和な星

しかしそんな平和を壊した悪が一度二度とこの星を狙うが、その悪を打ち倒した英雄【カービィ】通称ピンクの悪魔と呼ばれし者

そんなカービィのおかげで毎日平和な星に成り立っていたのだ。

そんな平和なポップスターに新たな黒幕が訪れようとしていた……

？

「ぷあうゆい………今日も平和な1日が訪れるぽよよ………」

ここはププブランド

平和溢れたここでは暴力、乱闘、殺人など狂気がまったく見当たらないほぼ100%といえるくらい平和な国である。そんななか、木に凭れかかっているピンク玉、カービィが大きな欠伸をし、ゆっくりと目を擦りながら身体を起こした

カービィ

「さてと今日もリックたちとサッカーをする約束があるから急がないと…」

カービィは急ぎ足で遊びにいった

カービィ

「皆…お待たせー!!」

リック

「おうカービー！やっと来たか！待ちくたびれたぜ」

と一匹のハムスター【リック】がサッカーボールに足をのせいかにも早くやろうぜアピールをしていた

クー

「んん……おおカービー来てたんか。なかなか来んから少し暇をもたらして居眠りをしてしまったよハハハ」

近くの木の枝でウトウトと眠っていた紫色のフクロウ【クー】カービーが来たことに気付いたのか直ぐ様起きたようだ

カイン

「あつ！カービーさん！今やっと来たんですね〜！けっこう待ちくたびれましたよ〜」

近くにあった小さな池から青色のマンボウの【カイン】が水面から顔を出していた。

カイン

「僕長いこと陸にいたら干からびちゃうんでたまらず池へ飛び込んだんですよ」

カービィ

「そんなに待たしちゃったのね……アハハ〜クー、リック、カインごめんね」

申し訳なさそうに3匹に頭を下げるカービィ

その背後から……

チュチュ

「やほっカービィ、すっかり私のこと忘れてたでしょっ!」

カービィ

「うわっ!？チュ……チュチュ!？」

カービィの頭にいきなりへばりついたピンク色のスライムに真っ赤なりポンをつけた【チュチュ】

チュチュ

「遅すぎよカービィ。あんた何時間遅刻したとおもってんのよ!!」

激しく怒るチュチュ

カービィ

「あの…すみません……本当に申し訳ないと思っていますそれより頭から降りてもらえませんか……（汗）前が見えないもんで」

チュチュの脅威についてい敬語になってしまったカービィあの英雄という称号はどこにいつてしまったのだろう

リック

「ところでピッチとナゴはどうした？さっきまで2匹でサッカーしてたのに」

カイン

「あの2人はさっき『何かあったのかもしれないからカービイを探しに行ってくる』ってピッチが言って15分前にカービイさんを探しにたよ〜?」

チュチュ

「今本人ここにいるのにね…」

カービイ

「うわぁ〜僕罪悪感たつぷり…後でめっちゃ謝つとかな(汗)」

どうやらナゴとピッチという者はカービイを探して行ったらしい
カービイはそのことで罪悪感を感じているらしい

「たたたたたた、大変だ〜〜〜〜!!!?!?」

リック

「ん?何が変態なんだ?」

クー

「変態ではなく大変だリック。それよりもあれは…ピッチではないか」

ピッチと呼ばれた黄緑色の小鳥が早急カービィ達の元へやってきた

クー

「どうしたんだピッチ？そんな慌てて…それよりナゴはどうしたのだ」

ピッチ

「それは後程話ますから急いで来てくれませんか！？ナゴさんが危ないんです！」

カービィ

「う…うん分かった！」

ピッチは急いで来た方に向かって行った。カービィ達はピッチの後を精一杯着いて行くのであった

はたしてナゴの身に何が起きたのだろうか……

第1話：変わらない日常（後書き）

頑張って書いた結果がこれって…なんか申し訳ないです

自分本当に文章力無いんですよ！

こんな私が小説を書いてよかったのか…フッフッ

リック

「怖いぞ作者。落ち着け」

第2話：不安（前書き）

やっぱ最初の方は書きやすいかも

でも話がいきなり切り替わるとかあるかもしれない

まさにこの第2話がそのとおりである

ナゴ……（汗）

第2話：不安

ピッチ

「皆こっちですっぴー！」

ピッチは急いで森に向かっていく。それをカービー達は必死に着いてゆく

そんななかクーは飛んでいるピッチに近付き

クー

「なあピッチ、ナゴの身に何が起きたのだ？何故こんなに急がなければ行けないのだ？」

クーはピッチに質問をした。みんなは苦し紛れに頑張って質問の答えを聞こうとしていた

ピッチ

「……………ナ、ナゴさんが崖から落ちたんですっぴ……。カービーさんを探しに僕とナゴさんで森の中を探索していたんですが突然地面に輝が入りそこからパツクリと地面が割れ……………何せいきなりでしたから僕とナゴさんは何も対応出来ず……………でも僕は飛んでいたの

で助かったんですがナゴさんがその崖から落ちていき………」

そこでピッチは喋るのをやめた

カービィ

「お、落ちていき…そのあとはどうなったの！？ナゴは大丈夫なんでしょ！？」

突然喋るのをやめたことにカービィは青ざめた表情で言った。話を聞いていたリックやみんなはカービィと同じ表情になっていて、いつの間にかその場で止まっていた

ピッチ

「……………わからないですっぴ…僕はとりあえず皆にナゴの落ちた場所に来てほしくて……………」

ピッチは静かに答えた

チュチュ

「そ……………そんな……………」

チュチュの表情はさらに青ざめていく。皆の表情も一段と青ざめていった

クー

「さて皆、まだ死んだとは考えられないぞ。もしかしたらナゴは何かの方法で助かつてるかもしれない！まだ希望を捨てるな、ナゴはそう簡単にはくたばらないよ」

リック

「……………そうだな。勝手に死んだとか考えていたらナゴに失礼だな……………！すまんナゴ」

カービー

「絶対に生きているよ！ナゴは！僕はそう思う！行こうナゴを助ける！ピッチ早く案内して！」

ピッチ

「はいっぴー！」

必ず生きている——誰もがそう思い再び走り出した

…

ピツチ

「ここですっぴー」

到着するとそこには地面が抉られており見事に割れていた

リック

「こ…これは想像してた以上に酷い有り様だ……」

カイン

「平和な毎日が続くと思っていたのに…まるで何かの始まりみたい

だね…」

この地割れをみたリックとカインはそれぞれ思う

カービィ

「とりあえず僕降りていくよ。ナゴを探しに行く」

クー

「ワシも探しにいこう。とりあえず空中組でこの地割れの中でナゴを探しにいこう。地上組はこの辺りを探してくれ。もしかしたらナゴは助かって既に地上に居るかもしれない」

リック

「おう！分かった！チュチュ、カイン、ナゴを探しに行こうぜ！」

チュチュ&カイン

「分かったわ！／分かりました！」

リック、カイン、チュチュ3匹の地上組はナゴを探しに森の奥へと消えていった

ピッチ

「僕たちも中に入りましょうっピ！…必ずナゴさん生きていてください」

カービィ

「よし、行こう！」

カービィ、ピッチ、クー3匹の空中組は地割れの中へと入っていった

空中組…いやカービィが地割れの中へと入っていった後、怪しい影が地割れの真上に現れた

？

「あれっ？さっきここに入っていたのってもしかカービィちゃん
のかなあゝ？気になるから入っちゃおゝ」

怪しい影の者もカービィを追うかのように陽気に地割れの中へと入
っていった

はたしてその者とはいったい誰なのだろう

そしてナゴは大丈夫なのだろうか――…

第2話：不安（後書き）

カービィ

「ナゴ無事かな……？」

ピッチ

「ナゴさん……」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4746y/>

星のカービィoriginal story ～～崩れていく平和～～

2011年11月17日17時57分発行